

# 未来を創る子どもたち

—つながり合い・学び合い・千代田愛—

千代田中学校 校長だより

令和6年7月19日

発行責任者

校長 坂本 由美

第4号



## 平和…すべての人の命をとことん大切にする未来

3年生は、修学旅行でしっかりと平和について学びました。現地学習のメインは、広島平和公園・広島平和記念資料館での学習と14歳で被爆された梶本淑子さんとの出会い。梶本さんは、現在93歳。パソコンを使いながら、当時の記憶をわかりやすく話してくださるその姿に感動し、唯一の被爆国である日本の学校では、子どもたちが、平和について学ぶ機会をつくっていかねばならない！と強く感じました。(梶本さんのお話については、ホームページの校長 Looking の修学旅行のところにも写真とともに掲載してあります。)

建物の下敷きとなり死が迫る恐怖、垂れ下がった皮膚や飛び出した内臓、ちぎれた腕を自分で抱えながらさまよう人々、水を求めて川に飛び込むたくさんの人々、焼けただれた死体であふれた川、腐敗してしまった死体を焼くすさまじい臭い、自分の体にもウジがわき家族にとりのぞいてもらったことなど…今の私たちには想像すらできない地獄を体験された梶本さんから、家族愛や友だちの大切さとともに、子どもたちへ次のお願いがありました。

- ①命を大切にしてください。広島原爆で亡くなった人14万人、国内自死年間約2.2万人。今後、死んだ方がましと思うような辛いこともあるだろうけど、かけがえのない命です。絶対に自ら死なないでください。
- ②ウクライナとロシアの戦争が終わらない。世界中にたくさんある核兵器、ビックリするほど大人もそのことを知らない。あやまちを繰り返すのが人間。80年経ち、そろそろまた、核兵器をつかうのでは…？さあ、みなさんはどうしますか？しっかり勉強して、声をあげ、行動してください！核兵器はだめ！戦争をしようとしている政治家を選ばないで！かけがえのない命を絶対に大切にしてください！！

心の底からの熱い熱いメッセージが伝わりました。

本校の「めざす学校像」は、「すべての人の命をとことん大切にする未来、その未来をともに創る子どもたち、その子どもたちの力を引き出す学校」です。子どもたちには、仲間とともに、戦争やいじめのない平和な世の中を創ってほしいと願っています。私たちは、日々、子どもたちが安全安心に過ごせるように、取り組んでいきます。



# ちよっちょトピツタヌ



## ■女子卓球部南河内大会優勝！■

7月13日（土）、河内長野市立市民総合体育館で卓球部の南



河内地区大会が行われました。本校の男女とも決勝トーナメントに残ることができ、女子は見事に優勝しました！すごいです！おめでとう！！



私が教員になった頃の男バス部（私はできないのに女バス顧問～；）のお話です。そのチームは、1回も勝てたことがないどころか、点数もほぼ取れないめちゃくちゃ弱いチームでした。「全員が試合に出る」ことをモットーにやってきたチームで、3年生の夏の最後の試合で、1度もゴールを入れられなかった人が、ゴールをきめたのです。チーム全員で抱き合い号泣したそうです。

部活動の試合には勝ち負けがつきものです。が、勝ち負けに関係なく、チームで信頼関係を築き、一生の仲間ができることは、勝つことよりも素晴らしいことだと思います。3年生、中学校での最後の部活動、悔いの残らないように、頑張ってください！

## ■笹の葉さーらさら♪ー七夕飾りー■



7月7日の少し前から、校舎のあちらこちらに願い事が吊り下げられた笹が飾られました。「受験、合格できますように♡」「府大会でられますように」など、3年生ならではの願い事があったり、「残りの学校生活、楽しくできますように！」というものもあっていました。さて、その願い事、誰が叶えてくれるのでしょうか？星？先生？おうちの人？いいえ、その答えは、あなたです。（^^）

## ■「ありがとう」の木■

玄関から入ってすぐの壁にありがとうの木が出現しました。一人ひとり、友だちだけでなく、家族、まわりで一緒に過ごしている人たちへの感謝の気持ちが、葉っぱに書かれています。ひとつひとつ読んでみると、心が温かくなります。



## ■50周年企画、お花の「50」■



環境委員長の呼びかけで、3年生のボランティアの人たちが、花壇に50周年の「50」を、ベゴニアやマリーゴールドの花で形づくってくれました。暑さで、枯れかけているものもあるので、9月になってから、枯れているお花を、植え直す予定です。

## ■日本で唯一、地上戦となった沖縄■



2年生は平和学習の一環として、沖縄戦について学びました。第2次世界大戦時の沖縄は、ヒロシマ、ナガサキと



はまた違った苦しみを背負った場所でもあります。一般市民の暮らす土地そのものが戦場となったのです。7月2日、沖縄生まれの中村高士学年主任の三線にあわせて、先生たちの島唄から始まった学習。79年前の第2次世界大戦中に生まれた中山先生の話の中で、沖縄には畳1畳分に爆弾が100個落ちるのと同じ数の爆弾が落とされた話や、20万人以上の人々が亡くなった悲劇を当時の動画も使って話してくれました。最後は、ジョンレノンの♪「Imagin」を歌詞を見ながら聴いて終わりました。約1時間のお話を、2年生が一言もしゃべらずに、しっかりと聴いていた姿が印象的でした。

## ■日本国憲法、一番大事だと思う条文は？理由は？■

教科書の巻末の日本国憲法の条文を読んで、最も重要だと思う条文を3つ選ぼう。

**最重要** 第9条  
 条文 国は、主権を国民に在り、これを侵すことなし。国権は、唯一にして、これを侵すことなし。国は、これを侵すことなし。

選んだ理由  
 平和が最も大事なことだから、おこには、いかなる

**2番目** 第14条  
 条文 国は、国民の権利の下に、平等とて、人種、宗教、性別、社会的身分の別なく、政治的、経済的、社会的関係において、差別をしない。

選んだ理由  
 平和の人が平和だから、いかなる

**3番目** 第23条  
 条文 国民の自由は、これを保障する。

選んだ理由  
 自由が最も大事なことだから、いかなる

3年生の社会で日本国憲法の学習をしました。どの憲法の条文が一番大事だと思うか、その理由は？ということで、たくさんの回答用紙が、階段に掲示してあります。それぞれの大事にしているポイントと理由が違います。平和が一番という人、自由が一番だ、基本的人権の尊重だという人、さまざまです。千代中生には、これまでの先輩と先生とが話し合いをして決めてきた学校のきまりがあり、千代田ナビゲーションに書かれています。「みんなのきまりを守る」ことは、安心

